

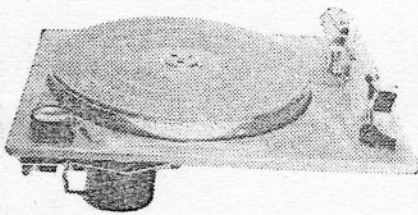
# 国内新製品紹介

## ニートの新製品 2 種

### ●ステレオ・プレーヤー・デッキ “NP-7819D”

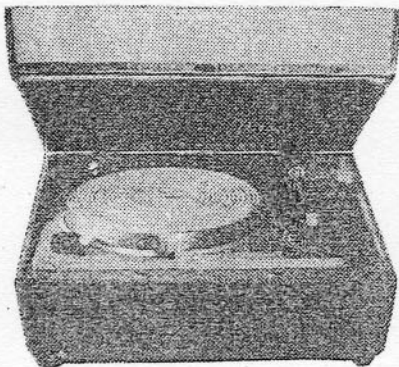
これはプロ級の部品で組立てられたプレーヤー・デッキで、モーターは4極4コイル取組線輪型インダクション・タイプのものを使っている。ターン・テーブルは3cm鉄板プレスのもの。速度は16<sup>2</sup>/<sub>3</sub>、33<sup>1</sup>/<sub>3</sub>、45、78rpmの4スピードで、速度調節はマグネチック型(15%)である。S/Nは43dB以上、ワウは0.3%以下となっている。カートリッジは4極4コイルのダイヤ針つきムービング・マグネット型で、周波数特性は30~19,000c/sである。感度は6mW(1,000c/s, 5cm/sec), チャンネル間絶縁は30dB(1,000c/s), チャンネル・バランスは±0.5dB(1,000c/s)である。トーン・アームは30cmのパーフェクト・ダイナミック・バランス型のパイプ・アームで、またセミ・オート・エレベーション・システムにより、安全にピックアップを持ち上げるような機構になっている。

なお、このNP-7819Dをケースに組込んだものはTP-7819Dとして発売される。定価は未定とのことである。



### ●ステレオ・プレーヤー “NP-6816D”

プラスチック・カバーのついたキャビネットに収められた4スピードのステレオ・プレーヤーである。モーターには同社のP-68型で、正しい回転が一目でわかるイルミネーション・ストロボ装置つきである。トーン・アームは30cmのパーフェクト・ダイナミック・バランス型のパイプ・アームが使われている。モーターは取組線輪型四極インダクション型で、ターン・テーブルは30cmアルミ合金鋳物製である。S/N比は45dB以上、ワウ0.25%以下、速度調



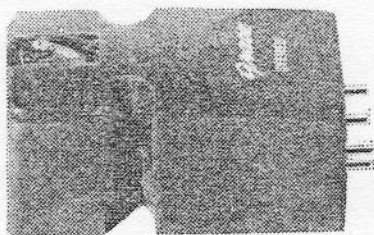
整は15% マグネチック型である。カートリッジはダイヤ針つき4コイル式ムービング・マグネット・タイプで、再生周波数は20~20,000c/s, 出力電圧は5mV, チャンネル・アイソレーションは20dB(1,000c/s), チャンネル・バランス±1dB, 針圧4grとなっている。正価は¥39,000

(東京都千代田区神田麻麗町 1-4)

ニート音響 KK

## グレースの ステレオ・カートリッジ “F-5H”

ムービング・マグネット型のステレオ・カートリッジで従来のF-5Dに0.5ミルのダイヤモンド針をつけたものである。このため高域のトレッキングが著しく改善されている。周波数範囲は30~18,000c/s(±2.5dB), 出力電圧: 約5mV(1,000c/s), 直流抵抗: 約300Ω(片チャンネル), インダクタンス: 約300mH(同), インピーダンス: 約2,000Ω(同1,000c/s)である。クロストークは1,000c/sにて-25dB以下, 10,000c/sにて-18dB以下, 針圧は2~5gr, 自重は11grである。定価は¥6,900



(東京都品川区大井元芝町 870)

Tel: 761-7744)

品川無線 KK

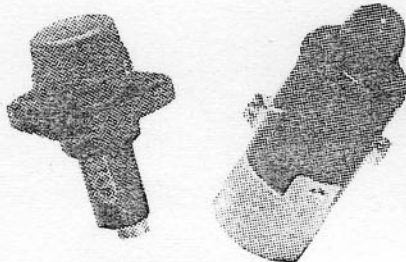
## 昭和無線の小物部品

### ●ヒューズ・ホルダー (左)

従来のネジ式のを改良大型化したもので、接触抵抗が小さい(ネジ式に比べて約1/3)ため電流容量が大きくなった。また温度上昇も低く、取付けにはボルト・ナットを用いるので耐震性も強い。電圧: 250V, 電流: 5~30A, 耐圧: 3,000V(AC 1分間), 温度上昇は50Aを24時間流した後で3°C以内となっている

### ●配電盤用表示灯 (右)

従来一般に市販されているものは電球に印加



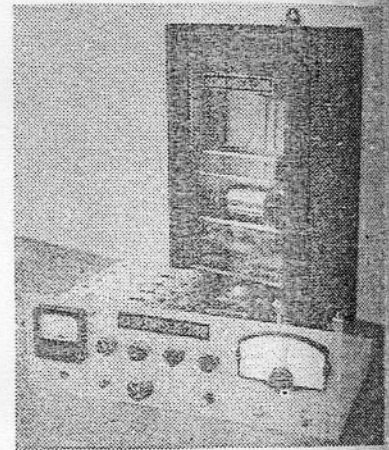
する電圧を規定電圧まで下げるのに抵抗とかトランスを使っていたが、本表示灯はコンデンサーで降圧させているので、抵抗を使った時のような発熱がない、従って寿命が長くなることが特長である。

(東京都品川区東戸越 2-24 Tel: 782-2101~7)

昭和無線工業 KK

## マジマの ウエストミンスター・チャイム

マジマ KK ではウエストミンスター・チャイムの増産に乗り出した。これは幅 300×奥行 200×高さ 550(mm)で、定価は¥46,000である。また、同社が試作研究中だった音階調律器も完成した。G(783.991c/s)からB(246.941c/s)まで自動的に調律できるものである。写真でチャイムの前においてあるのがそれである。



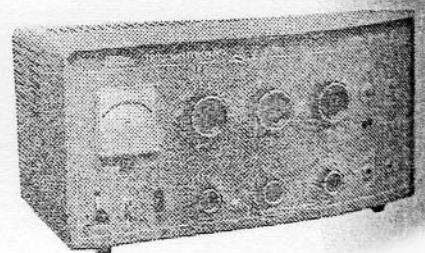
(東京都杉並区久我山 2-561)

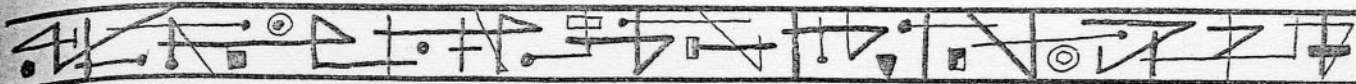
KK マジマ

## トリオの新製品 3 種

### ●10W 送信機キット “TX-88A”

わが国ではじめての3.5~50Mcの全ハム・バンドをカバーした本格的なステージ送信機である。終段管は807で、出力回路にはマッチを採用して広範囲のインピーダンスにマッチさせることができるようになっている。変調器は最大出力1.5Wで、プレート・スクリーン同時変調方式を採用し、すぐれた変調特性をもっている。また、アンテナ・リレーが内蔵されていて、外部リレーを使用せずに送受信の切

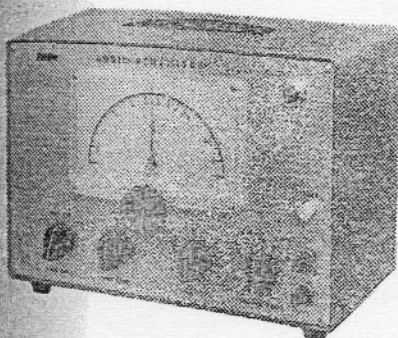




換ができるのも便利である。なお本機は、同社の通電型受信機“9R-59型”にマッチするように寸法やデザインが施されている。定価は ¥21,000

●CR型低周波発振器“AG-10”

20~200 c/sの単一目盛と4レンジの切換え(20~200 c/s, 200 c/s~2 kc, 2~20 kc, 20~200 kc)によって20 c/s~200 kcにわたる周波数を容易に取出すことができる。また出力電圧の調整は5レンジの切替スイッチと微細調整とによって0.1 mV~10 V間の電圧を自由に取出すことができる。矩形波発生回路はシュミット方式になっているので、立上りの早い形のよい矩形波を得ることができる。増幅器の混変調歪を測定するために必要な混合波も発生できる。ベースの電圧は電灯線の正弦波であるが、これに100 c/s~50 kc間の任意の発振電圧を重ねることができ、出力インピーダンスは最大5 kΩ、外形寸法は幅300×高さ220×奥行190 (mm)で、重量は5.4 kgである。定価は ¥19,000



●オーディオ用バルボ“VT-100”

測定周波数範囲は20 c/s~100 kcの音声および搬送周波数で、その電圧測定範囲は1 mV~1 kVである。入力端子は各レンジ共1 MΩで、その容量は15 pF以下であるから被測定回路にはほとんど影響がない。減衰器は



10 dB ステップで11レンジ、入力インピーダンスは1 MΩ、入力容量は15 pF、測定精度は最大目盛の±3%、安定度は電源電圧±10%変動に対し、指示の変動は±1%以内、利得: 約45 dB、出力電圧: 2.5 V (指示計最大目盛にて)、出力インピーダンス500 Ω、増幅周波数範囲は15 c/s~150 kc (±1 dB以内)、使用真空管は6AU6, 6BL8, 6X4、外形寸法は幅158×高さ235×奥行160 (mm)で、重量は3.5 kgである。定価は ¥21,000

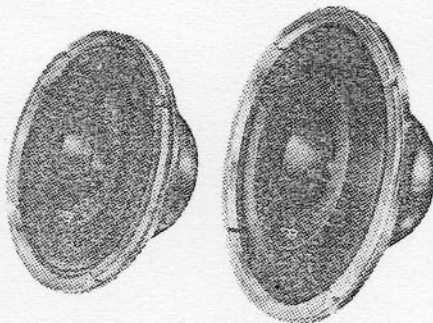
(東京都大田区調布千鳥町74 Tel: 751-7121) トリオ KK

チューニのスピーカー 2種

折返しコーンを使ったユニークな形態で話題

を集めた普及型のハイファイ・スピーカー、カインテック型の大型のもの2種が発売された。主な規格を下表にまとめてみた。

型名	K3-25	K3-30
公称寸法	25 cm	30 cm
最大入力	15 W	20 W
インピーダンス	16 Ω	16 Ω
共振周波数	50 c/s	45 c/s
再生周波数帯域	45~13,000 c/s	40~16,000 c/s
出力音圧レベル	100 dB	102 dB
空腔共振密度	10,000 ガウス	10,000 ガウス
総磁束	110,000 マックスウェル	150,000 マックスウェル
開口径	225 mm	265 mm
奥行	125 mm	130 mm
重量	2.86 kg	3.45 kg

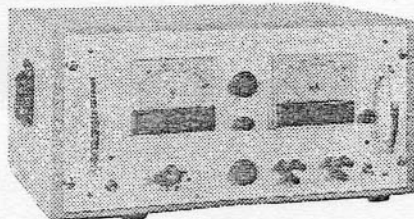


(東京都北区田端町259 Tel: 821-2940) 日本チューニ KK

菊水の新製品 2種

●直流可変安定化電源“725B”

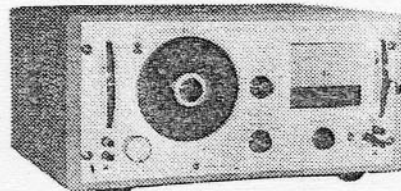
本機は0~500 Vを微細に連続可変できる安定度の高い直流定電圧電源で、リップル電圧も少なく、大型の出力電圧計・電流計を備え、各種精密実験用または直流機器の較正用電源として便利なものである。直流出力端子は色別されて19 mm 間隔に四辺形に配置されている。対接地電圧は最大±500 V、主電流(端子は赤 ⊕ 灰 ⊖)は出力電圧0~500 V、電流は連続最大500 mA、リップル最大10 mV (p-p)、C バイアス電源は(端子は灰 ⊕ 白 ⊖)出力電圧0~200 V、リップル最大3 mV (p-p)、交流出力は端子が19 mm 間隔で正三角形配置になっており、2回路である。電圧は6.3 V、電流は最大3 Aである。外形寸法は幅550×高さ260×奥行405 (mm)で、重量は24 kgである。



●超低周波ファンクション・ジェネレーター“453型”

0.008~1,200 c/sの正弦波、三角波および矩形波を10進法5レンジに分割して発生する、きわめて安定な超低周波発振器で、出力電圧の周波数特性は本質的にフラット、波形およびレンジの切換えによりほとんどトランジェントを

発生せず、直ちに新たに与えられた波形で発振するようになっている。なお開放出力電圧を指示する peak to peak 形電圧計が組込まれている。ダイヤル目盛は×0.01, ×0.1, ×1, ×10, ×100の5レンジで、精度は2%+(ダイヤル目盛の±0.03)、安定度は始動後5分~60分に対して最大±1%、電源電圧の±10%変動に対して最大±0.5%である。最大出力電圧は30 V (p-p)、周波数特性は1,000 c/sに対して最大±2%、歪率(正弦波)は0.008~100 c/sで最大1%、100~1,000 c/sで最大2%、出力インピーダンスは約25 Ωとなっている。外形寸法は幅545×高さ260×奥行455 (mm)で、重量は20 kgである

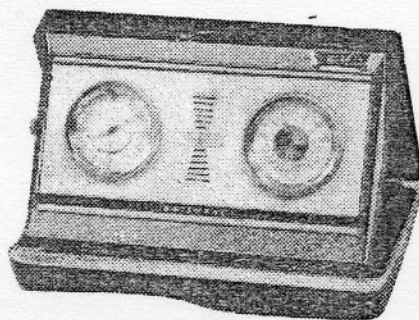


(東京都大田区馬込西4-67) KK 菊水電波

ナショナルの新製品

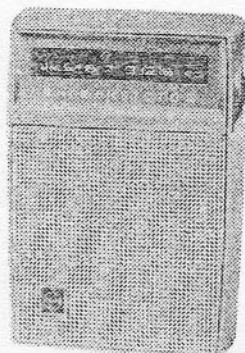
●クロック・ラジオ “ポータラム T-93”

しゃれたレザー・ケースにおさめられており、それを開いてたてかけると写真のような状態となる。セイコー社のゼンマイ式時計がついており、タイマーによって望みの時刻に鳴らしたり切ったりすることができる。ラジオは6石+1ダイオードで、電池は単三×2の3Vの低電圧のものを使っている。写真で向って左側が時計で、右側がダイヤルとなっている。受信周波数は540~1,600 kcで、感度は300 μV/m/5mW、出力は無歪90 mW、最大180 mW、スピーカーは4.5 cm P.M ダイナミック逆コーン・スピーカーを使っている。外形寸法は幅135×高さ83×奥行34 mmで、重量は電池ともども352 gr。現金正価は ¥13,000



●6石ポケット・ラジオ “T-53”

6石で540~1,600 kcというシングル・バンドのポケット・ラジオだが、その小型・軽量さと値段の安さが売り物であろう。感度は200 μV/m/5mW、出力は無歪125 mW、最大200 mW、ス

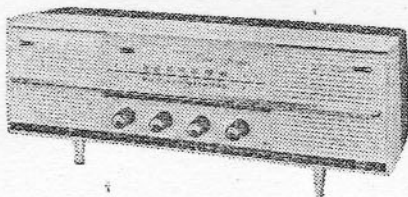




ピーカーは 5.5 cm 型、使用電池は 006P (9V) となっている。外形寸法は幅 64×高さ 92×奥行 28.5 (mm) で、重量は電池ともて 190 gr。現金正価は ¥ 5,800

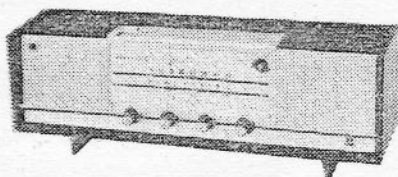
●ルーム・ラジオ “GX-430”

受信周波数帯域 535~1605 kc と 3.75~12 Mc の 2 バンド・トランスレス 5 球スーパーであるが、10 cm 型スピーカー 2 個を使って音質をあげている。感度は MW, SW とともに 50  $\mu$ V/50 mW。電気的出力は無歪 1.2 W, 最大 1.5 W, 消費電力は 23VA である。外形寸法は幅 458×高さ 135×奥行 175.5 (mm), 重量は 2.65 kg である。現金正価は ¥ 7,750



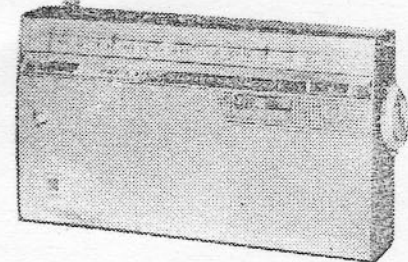
●ルーム・ラジオ “GM-520”

12BE6, 12BA6, 12AV6, 30A5, 19A3 にマジックアイ 12ZE8 という配列で、535~1605 kc と 3.75~12 Mc の 2 バンド・ラジオである。電気的出力は無歪 1.2 W, 最大 1.5 W, スピーカーは 12 cm 型を 2 個使っている。外形寸法は幅 552×高さ 191×奥行 188.5 (mm) で、重量は 3.5 kg である。現金正価は ¥ 10,500



●高感度 TR ラジオ “T-67”

2SA103×2, 2SA101×2, 2SB173, 2SB175, 2SB178×2 にダイオード 0A70×2 という内容で、感度は MW: 70  $\mu$ V/m/50 mW, SW: 100  $\mu$ V/m/50 mW という高感度である。スピーカーは 9 cm PM ダイナミック型、出力は無歪 300 mW, 最大 500 mW, 電池は単二×4 (6V) である。外形寸法は幅 217×高さ 125×奥行 47 (mm) で、重量は 1.05 kg である。現金正価は ¥ 13,500



●スーパーフォニック “HE-85”

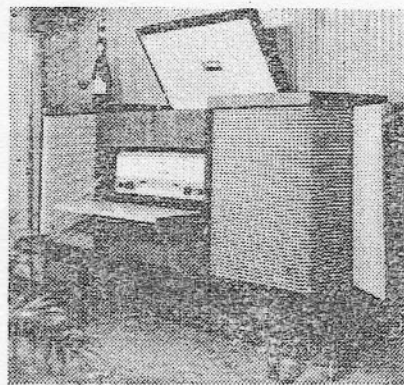
豪華版のステレオ・アンサンブルである。すなわち、チューナー・アンプ部 “RA-85”, プレーヤー部 “TU-85”, スピーカー・システム “HS-85” が組合わさったものである。

まず RA-85 型は、第 1 チャンネルが MW (535~1,605 kc) と FM (76~90 Mc), 第 2

チャンネルが MW (535~1,605 kc) と SW (3.8~12 Mc) のチューナー部があり、中間周波数は Ch. 1 の MW が 455 kc, FM が 10.7 Mc, Ch. 2 は MW, SW とともに 475 kc となっている。使用真空管は 6AQ5, 6BE6×2, 6BA6×3, 12AT7×4, 6BM8×4, それにトランジスタ 2SB173×4 (PU イコライザー), ゲルダイ 0A79×4, シリコン・ダイオード SP1×2 となっている。出力は無歪 7W×2, 最大 9W×2 で、周波数特性は 40~20,000 c/s, S/N 比: -55 dB, クロストーク: -35 dB, 残響時間は最大 2.5 秒という残響付加装置もついている。それに音の広がり具合を調節するスプレッド・コントロールもついている。

プレーヤー部 “TU-85” はプラグイン式ムービング・マグネット型ステレオ PU で、ダイヤ針がついている。出力電圧は ST: 5 mV, SP: 8 mV, 再生周波数帯域は 20~15,000 c/s, 針圧は 3 gr である。モーターは 4 スピード, 4 極 2 コイル・インダクション型で、リム・ドライブ方式をとっている。ターン・テーブルは 25 cm (ゴム・シートつき), スピーカー・システムは 25 cm, 10 cm, 8 cm と 3 つが入った 3 ウェイ・システムで、キャビの型式はパステル型である。再生周波数は 50~15,000 c/s, クロスオーバー 2,000 c/s, 許容入力 10 W, VC インピーダンスは 16  $\Omega$  となっている。

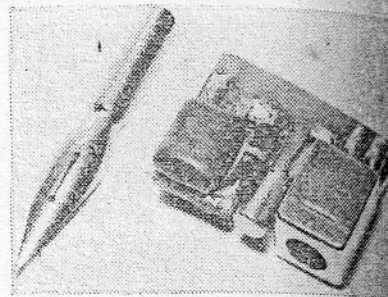
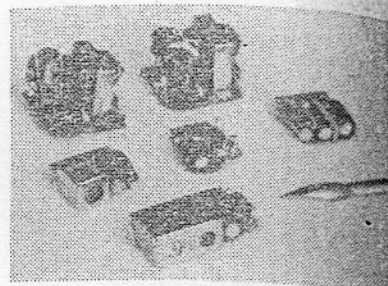
これを総合した外形寸法は幅 1,444×高さ 907×奥行 294 (mm) で、重量は 60 kg である。現金正価は RA-85 が ¥ 100,500, TU-85 が ¥ 25,000, ステレオ SP システム HS-85 が ¥ 55,000, それにテーブル “RT-85” が ¥ 4,500 で 5 点ひとそろいで ¥ 185,000 である。



(大阪府北河内郡門真町)  
松下電器産業・ラジオ事業部

モジュール・サーキット

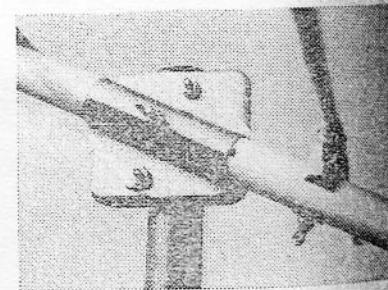
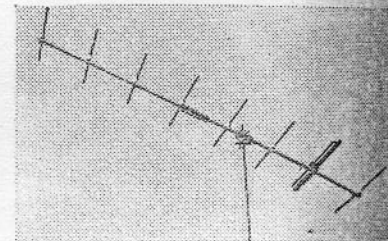
これは一つの最小限の単位機能回路として、部品が組合わされており、また完全に調整されたもので、矩形の穴をあけプリント基板を用意するだけで、簡単に高級送・受信機、ハルス応用器, FM 受信機などが組立てられる。本モジュールは主として、アマチュアおよび学校用に開発されたもので、完全調整が行われているため、測定器不完備のところでも楽に組立・実験をすることができる。その種類は開発中のものを含めて 30 ほどある。一例を示せば、455 kc IF 回路用は縦 20×横 20×厚さ 10 mm の大きさで、入力インピーダンス 500  $\Omega$ , 出力インピーダンス 500  $\Omega$ , 9V 電池用である。値段は 500 円である。



(神奈川県川崎市生田 2493)  
斎藤応用工学研究所

マスプロ・アンテナの  
変角 U 金具

マスプロ電工から、アンテナの角度を自由に変わって取付けられる変角 U 金具が発売された。このため、アンテナの仰・俯角などを地形に応じて自由な角度に取付けることができ、またアンテナ・マストを斜めに出してアンテナを水平にすることもできるから便利である。正価は ¥ 420



マスプロ電工 KK

QQQ の 19 型 114 度偏向  
受信機キット

“19Q-7”

19 型 114° 偏向のワイド・スクエア・フウン管を使ったキットで、超薄型のキャビネットにコンパクトに納められるようになっている。